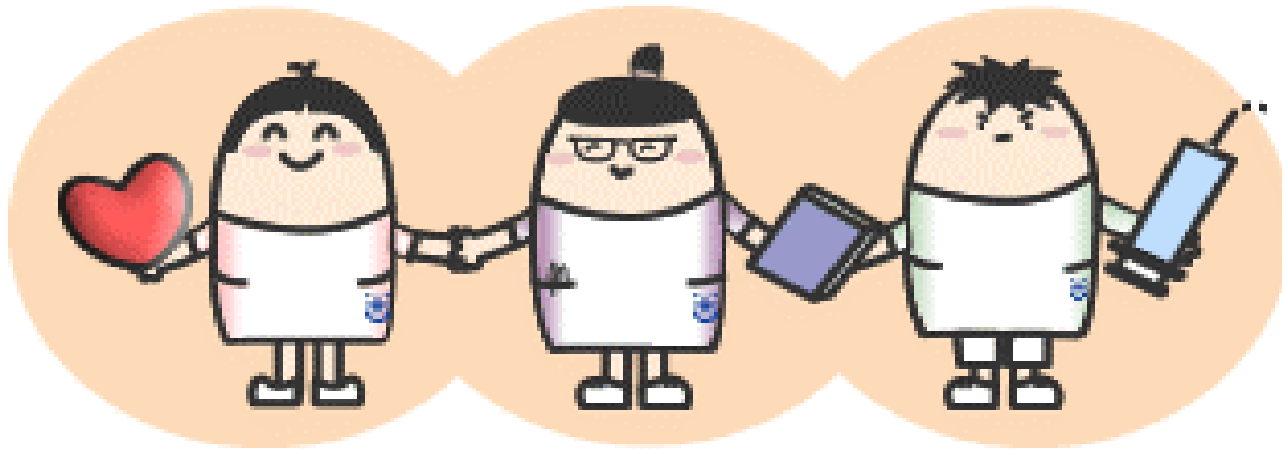


新人看護師研修 2016.4.8

重症度、医療・看護必要度 研修



西病棟2階 大西 真理子

看護職はサービス業

なにをする？

右麻痺

食事介助

検査・リハビリ

車いす介助

バイタルサインの測定

発熱

クーリング

発汗

更衣

Aさん
交通事故
右半身麻痺
体温37.8℃
リハビリ中

生産と同時に消費され、形に残らない

1. 重症度、医療・看護必要度とは

入院患者に提供されるべき
看護の必要量である

重症度、医療・看護必要度の考え方

医療・看護必要度は、実際に提供した看護サービスの量ではなく、**患者がどの程度サービスを必要としているか**によって判断することが適当である

患者の視点からみている

重症度、医療・看護必要度とは

看護サービスの質の評価を行う
アセスメントツールとなる

看護の必要量を測る「ものさし」

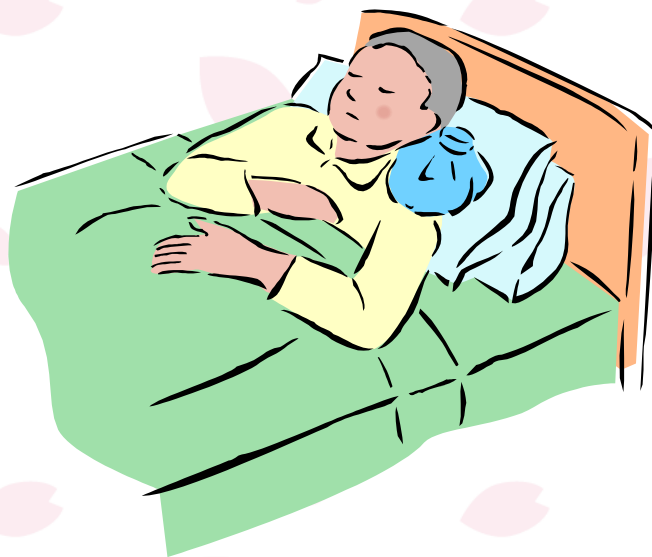
手厚い看護体制をとるに当たりその体制が必要であるかどうかという「重症度、医療・看護必要度」にて基準が設定されている
(同じ7：1入院基本をとっていても看護必要度の基準を満たすか満たさないかにより病院に支払われる診療報酬が変わってくる)

同じ病名・状態の患者でも・・・

10人×3交代

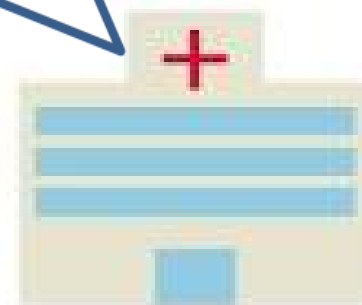
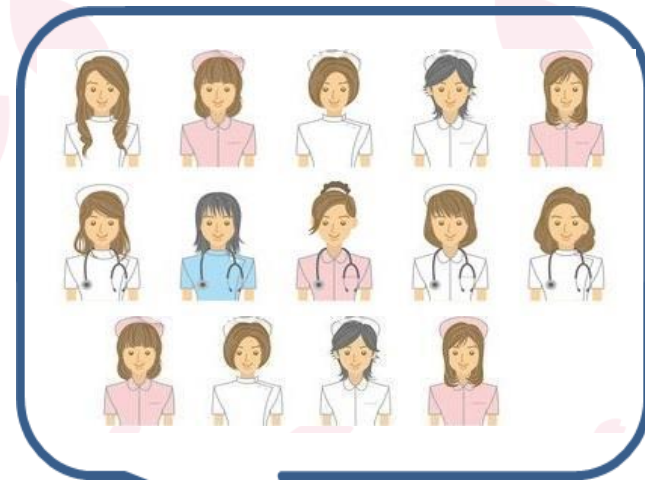


100床のA病院では
10対1看護基準
看護師10人必要



病院の看護職員の
配置が異なると、
提供される看護の内
容や量も異なる

14人×3交代



100床のB病院では
7対1看護基準
看護師14人必要

同じ7：1看護基準の病院が2つあり、 寝たきりのBさんが入院する場合・・・

更衣：1日1回
歯みがき：1日3回
体位交換：4時間おき
車いすで散歩
リハビリ毎日



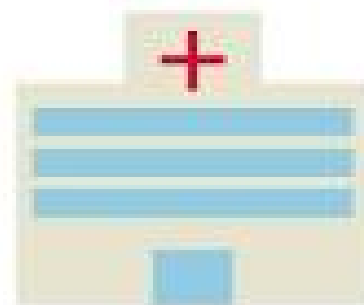
A病院では・
・・・



Bさん
寝たきり

看護ケアや処置をや
っているA病院もあ
るし、あまりやって
いないB病院もある

更衣：週に2回
歯みがき：1日1回
体位交換：各勤務1回
リハビリなし



B病院では・
・・・

重症度、医療・看護必要度の評価



ただし、患者さんがどんなに重症であっても、患者に対する看護行為等が発生しなければ、看護必要量は評価されない。

良い看護を提供している病院には、



7対1
看護師
配置



看護の質の
向上

在院日数の
短縮

良い診療報酬をつけてあげたい

入院基本料とは

医師の診察料や看護師の看護料を含めたサービス全体に対する料金のこと

看護配置と平均在院日数

	看護配置	在院日数	点数(1日当り)
7:1入院基本料	7:1以上	18日以内	1566
10:1入院基本料	10:1以上	21日以内	1311
13:1入院基本料	13:1以上	24日以内	1103

診療報酬とは

保険診療のもとで行われる、診察や検査・手術の料金、お薬の値段など、国が決めた病気の料金（基本料金と、加算分）のことで、2年毎に改訂される

診療報酬の改定に伴い、2年毎に重症度、医療・看護必要度の評価基準「ものさし」の変更がある

医療・看護必要度の正しい評価

チェック項目には、**厳密な定義**と**判断基準**がある

「ものさし」を使いこなすには**学習**が必要

看護師って何をする人？

B項目

厚生労働大臣の免許を受けて、
傷病者若しくはじょく婦に対する
療養上の世話又は診療の補助を行
うことを業とする者をいう。
(第五条)

平成28年度より追加

A項目

M項目

医療・看護必要度の分類

A項目

患者さんに行われている治療内容に応じて提供される看護ケアを評価する

B項目

患者さんが、自立して動けるか、日常生活行動に援助が必要かなど、患者の状態を評価する

M項目

手術直後の患者の状況を、術式や麻酔方法などから評価する

一般病棟における重症度、医療・看護必要度

A項目	0点	1点	2点
1.創傷処置 ①創傷の処置 ②褥瘡の処置	なし	あり	
2.呼吸ケア ①酸素吸入 ②体位ドレナージ ③人工呼吸器	なし	あり	
3.点滴3本以上	なし	あり	
4.心電図モニター	なし	あり	
5.リフトホリフ	なし	あり	
6.輸血・血液剤	なし	あり	
7.専門的治療	なし		あり
8.救急搬送	なし		あり

7.専門的治療
①抗悪性腫瘍剤（注射のみ）
②抗悪性腫瘍剤の内服
③麻薬注射薬の使用
④麻薬の内服・貼付・坐剤管理
⑤放射線治療
⑥免疫抑制剤の管理（注射・内服）
⑦昇圧剤の使用（注射のみ）
⑧抗不整脈剤の使用（注射のみ）
⑨抗血栓塞栓薬の持点滴の使用
⑩ドレナージ中の管理
⑪無菌治療室での治療

赤字は平成28年度より追加

一般病棟における重症度、医療・看護必要度

B項目	0点	1点	2点
1.寝返り	できる	何かにつかまればできる	できない
起き上がり	できる	できない	
2.危険行動	ない		ある
3.診療・療養上の指示が通じる	はい	いいえ	
座位保持	できる	支えがあればできる	できない
4.移乗	できる	見守り・一部介助	できない
5.口腔清潔	できる	できない	
6.食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
7.衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助

赤字は平成28年度より追加、「起き上がり」「座位保持」は削除

一般病棟における重症度、医療・看護必要度

M項目	0点	1点
1.開胸・開頭の手術（術当日より5-7日程度）	なし	あり
2.開腹・骨の観血的手術（術当日より3-5日程度）		
3.胸腔鏡・腹腔鏡手術（術当日より2-3日程度）		
4.その他の全身麻酔の手術（術当日より5-7日程度）		

M項目は平成28年度より追加

重症患者の定義

A得点が2点
以上かつ、
B得点が3点
以上の患者

又は

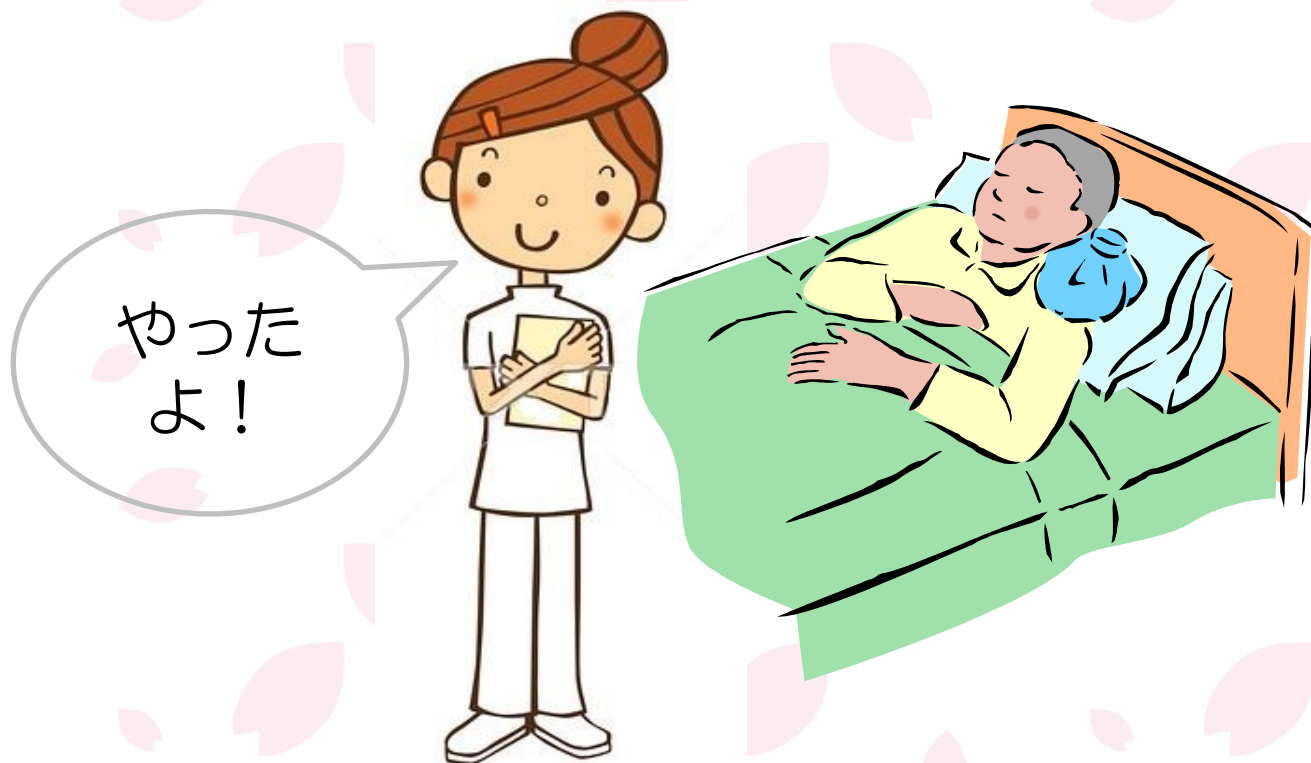
A得点が
3点以上の
患者

又は

M得点が
1点以上の
患者

7:1看護基準を満たすためには、今まで一番左の基準を満たした患者が15%以上必要であったが、H28年度の改訂で、中及び、右部分も加わり、患者の割合が、25%以上に引き上げられた。

看護必要度の評価は記録をもとに行う



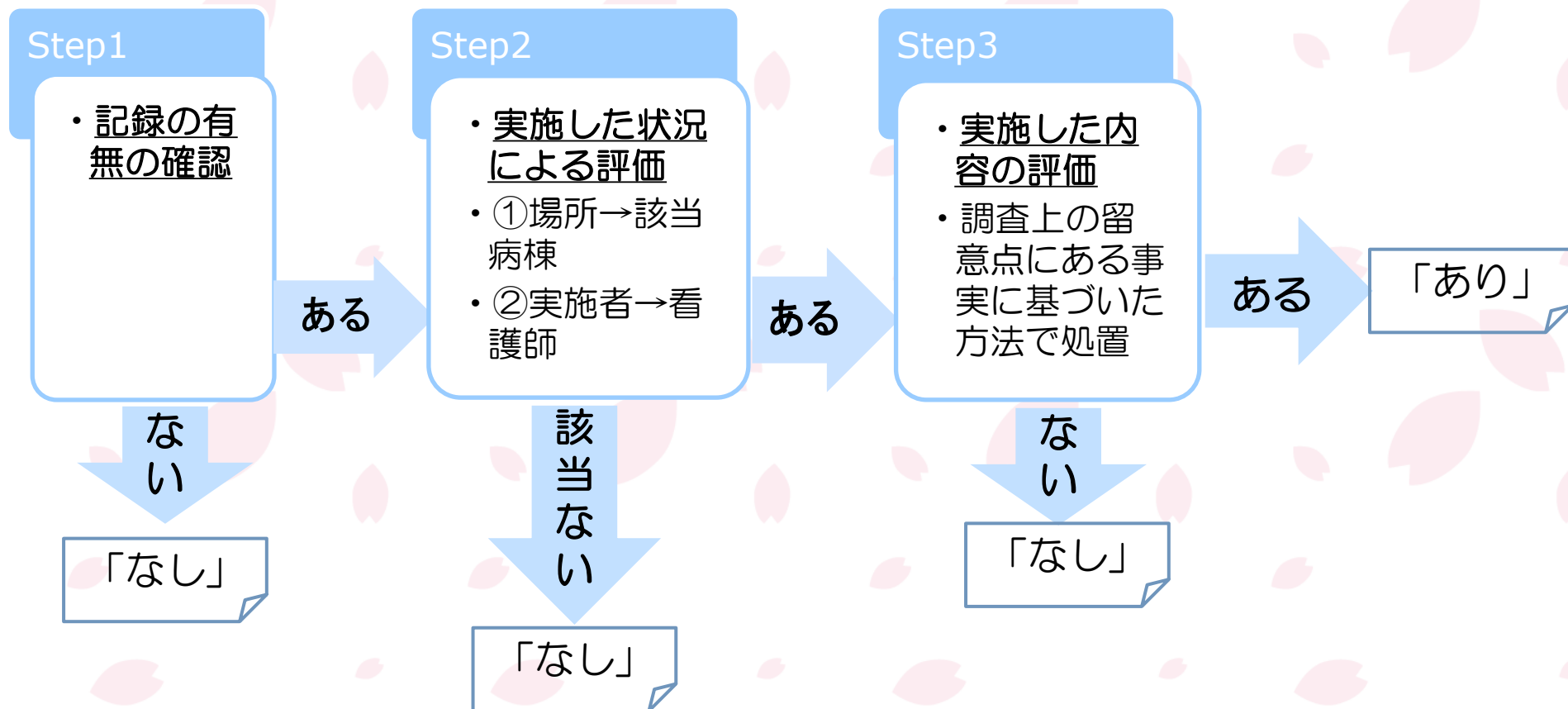
ただし、患者さんがどんなに重症であっても、患者に対する看護を記録に残さなければ、看護必要量は評価されない。

「記録」が評価の前提となる

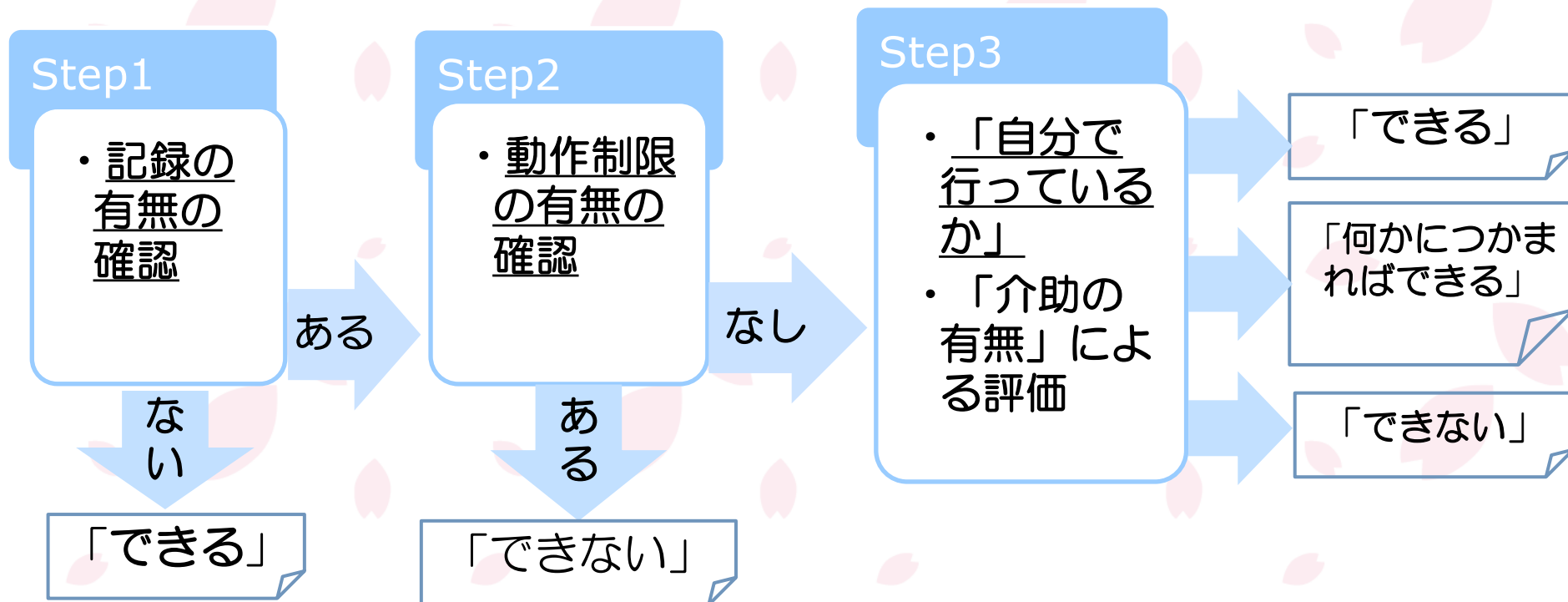
重症度、医療・看護必要度の評価には、

看護にかかる記録（証拠）が残されていることが必要

A項目のフローチャート



B項目（寝返り）のフローチャート



看護記録の書き方

何を書くか

- ①患者の状態
- ②提供された看護サービス

記録を読んだ第三者が、当該患者の状態を把握できる、そして、この状態であれば、この看護サービスが提供されて当然であろうということが納得できる看護記録が必要

簡潔に、事実を
叙述的（ありのまま）に
要約（サマイズ）する

どう書くか

- ① 1文を長文にしない
- ② 不必要な言葉を除く
- ③ 同じ言葉を繰り返さない
- ④ できるだけ短い語句を選ぶ
- ⑤ 関連づけて書く場所をまとめる
- ⑥ 番号を振るなど、読みやすい工夫をする
- ⑦ 脈絡を考え文章を書く

看護記録の書き方

事例 1

54歳女性 肝がん
全身麻酔下で肝切除術施行
術後1日目順調に経過
安静度：セミファーラー位まで
食事：禁食

事例1の必要度評価表

A項目	0点	1点	2点	B項目	0点	1点	2点
1.創傷処置 ①創傷の処置 ②褥瘡の処置	なし	あり		1.寝返り	できる	何かにつかまればできる	できない
2.呼吸ケア ①酸素吸入 ②体位ドレージ ③人工呼吸器	なし	あり		2.危険行動	ない		ある
3.点滴3本以上	なし	あり		3.診療・療養上の指示が通じる	はい	いいえ	
4.心電図モニター	なし	あり		4.移乗	できる	見守り・一部介助	できない
5.リフト・ポンプ	なし	あり		5.口腔清潔	できる	できない	
6.輸血・血液剤	なし	あり		6.食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
7.専門的治療 ドレージの管理	なし		あり	7.衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
8.救急搬送	なし		あり				

4点

6点

赤○の「有事象」を記録していく

事例1の記録例

呼吸ケア

ドレナージ
の管理

創処置

寝返り

口腔清潔

衣服着脱

正午に酸素吸入中止となるが、呼吸困難なし。包帯交換施行、出血少量、創部の異常なし。胆肝面とダグラス窩よりドレナージ良好。腸管音聴取す。嘔気なし。寝返りはベッド柵につかまり自力で行えたが、体動時の創痛が強く、寝衣の着脱は全介助で行う。歯磨きも全介助で行った。安静はセミファーラー位までであったが、明日は、歩行可となることを伝えると、「頑張って歩きます」と意欲が見られた。(179字)

この記録では、有自象「移乗」の判断はできません

事例1の良くない記録例

寝返り：自力で可
移乗：できない：ADL低下している
歯磨き：全介助：うがいができない
食事：全介助：禁食の指示あり
寝衣の着脱：全介助：意欲低下のため

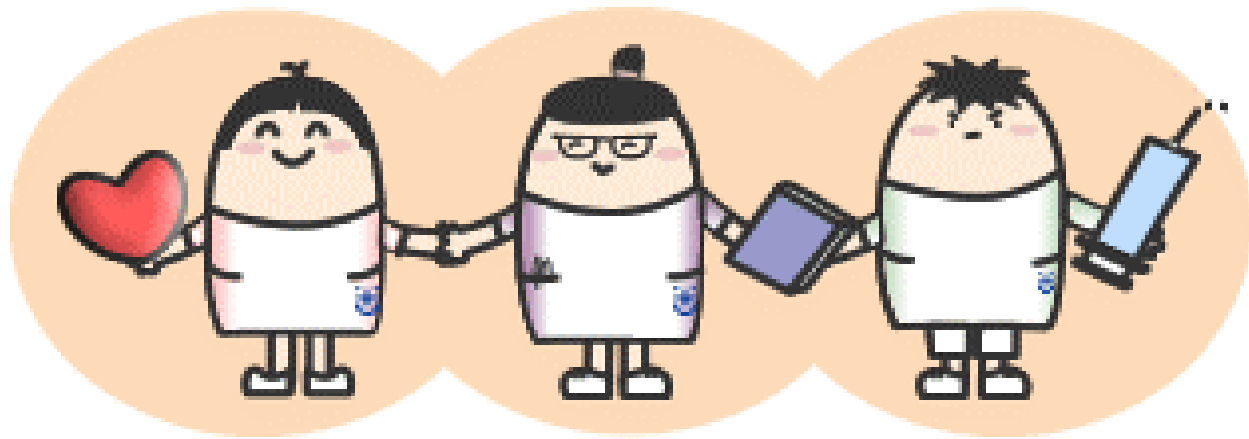
何ができず、**何の援助をしたか不明**。「必要」ではなく「〇〇した」にする

本日のまとめ

医療・看護必要度は、
患者の状態を正しく評価し、
看護の見える記録として残していく



看護がみえる記録＝看護の質を表す
記録の質を上げると看護の質も向上する



ご清聴ありがとうございました